

事故防止について

お子さんを事故から守るために



お子さんの安全

- ◆ ベッドからの転落を防ぐため、お子さんから離れるときは、必ずベッド柵をあげるようにしましょう。
- ◆ 思わぬ転落を防ぐため、ソファーなどにお子さんを一人で寝かせないようにしましょう。
- ◆ おんぶは首が座った頃からにしましょう。



お子さんの周りに潜む危険

◆ お子さんの目線になって、室内の整理整頓に注意しましょう ◆



お子さんの周りに潜む危険①

- ◆リビングは特に誤飲、窒息が起きやすい場所です。
小さいものや危険な物を、床やテーブルの上に置かないようにしましょう。
- ◆誤飲で危険な物は、タバコ、ボタン電池、ネジ、洗剤、くすり、お金などがあります。
- ◆ピンポン玉程度の大きさ(直径39mm)より小さいものは、飲み込むおそれがあります。

お子さんの周りに潜む危険②

- ◆ アイロンやお湯などで、やけどをする危険があります。
- ◆ お兄ちゃん、お姉ちゃんがいる場合、赤ちゃんを抱き上げて落とす、物を食べさせてしまう場合があります。
- ◆ 枕や柔らかい布団、ベッドと壁のすき間に入り込んでしまい、窒息する危険性があります。
- ◆ 家族の体の一部で圧迫してしまわないよう注意しましょう。

日常生活での注意点

- ◆ お子さんの外出は、退院後1か月は控えたほうがいいでしょう。
- ◆ 混雑した場所や乗り物は避けましょう。
- ◆ 母子手帳やお子さんのマイナンバーカードを持ち歩きましょう。
- ◆ 短時間であっても、車内などにお子さんを一人にしないようにしましょう。



お子さんの安全のために



- ◆ お子さんに関わる事故は、大人が防げるものが多いです。
- ◆ 母子手帳やこども家庭庁のHPにも詳しく掲載されていますので、目を通しておきましょう。
- ◆ 何らかの事故が起きた場合に備えて、対処法も確認しておきましょう。
- ◆ 市町村の広報などで、休日夜間の当番医を確認しておきましょう。